



今年度4回目の港の総合学習支援を行いました

9月29日(金)に金沢港に一番近い金沢市立大野町小学校の児童(6年生:33名)を対象に今年度4回目(同校は2回目)の港の総合学習支援を行いました。

当日は港湾業務艇「わかなⅡ」に乗船しての港内見学と「みなと」の役割や施設の重要性に関する座学を行いました。

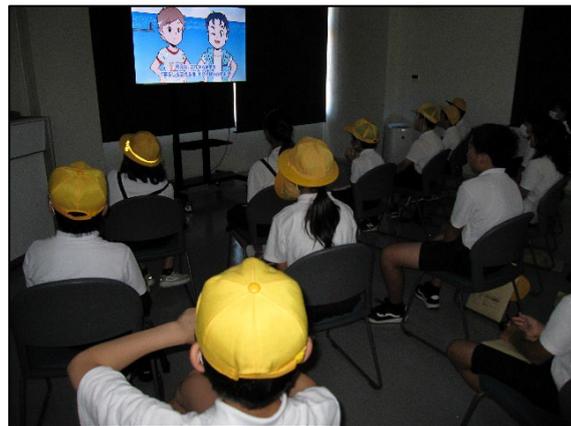
港内見学では、石油埠頭の巨大なタンクやLPG(液化石油ガス)船、御供田埠頭のガントリークレーンによる貨物の積み卸しなど、普段見ることのできない船上からの景色等を眺めることが出来ました。

船に初めて乗船するという児童も多く、港の利用者や停泊中の船舶に手を振ったりと、とても楽しんでいる様子が見られました。

今回の学習を通して、地元の「みなと」である金沢港をより身近に感じてもらう機会となれば良いと思います。



船内から景色を眺める児童の様子



座学の様子



船上の様子